

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日
平成 23 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】 市から委嘱(2年間)を受けた体育指導委員がスポーツ振興について、住民のスポーツ活動促進のための組織育成や行政機関の行うスポーツに関する行事または事業に関し、協力することにより住民のスポーツについての理解を深めてゆく。委員数が役員会で話し合いを重ねた結果、委員本人の進退意向を文書で確認し、地域を考え、38名から25名になった。平成24年3月31日で委嘱期間が終了する。翌4月1日には、新しく委嘱をするため、地域を考慮して人選をし、委員の若返りを考えていきたい。
【担当者が行う業務の手順】 県西部地区体育指導委員長協議会・県体育指導委員協議会に参加。体育指導委員会を随時開催。
4月→役員会を開催し総会の準備・功労者推薦書の作成 5月→総会開催(前年度の実績報告、今年度の事業計画等) 8月→ふれあいウォークの試歩会協力 10月→体育協会とのふれあいウォーク協力 3月→さくらマラソン大会実施・県女性体育指導委員研修会参加
【事業費の内訳】 体育指導委員の報酬 費用弁償 体育指導委員手帳

Table with columns for (1) 事務事業の目的, ①手段, ②対象, ③意図, ④結果, ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

Table with columns for (2) 指標値の推移, 区分, 単位, 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(実績), 23年度(計画), 24年度(計画), 25年度(計画), 28年度(目標).

Table with columns for (3) 投入量(事業費)の推移, 区分, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 28年度, 期間限定総投入量.

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
旧3町村よりの継続事業。スポーツ振興法(昭和36年法律第141号)の規定に基づき桜川市体育指導委員規則を定める。国において、平成12年度スポーツ振興基本計画の中で、総合型地域スポーツクラブの設立を重点施策としている。桜川市においても、第1次計画の中に入っている。
昨年10月に桜川スマイルクラブが設立されて、事務局を中心に教室やイベントが実施されているので、体育指導委員も会員になって協力をしている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・ふれあいウォークは、これからもずっと続けてほしい。
・よさこいソーランの講習会を続けてほしい。
・競技性がないほうが参加しやすい。

事務事業名	体育指導委員運営事業	事務事業No.	33435001	所属課	スポーツ振興課
-------	------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 第1次総合計画第3章豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくりで、総合型スポーツクラブの設立を政策として掲げている。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 今後少子高齢化が進む中で、生涯スポーツを通じて、健康で明るい豊かな生活を送るとともに、地域住民が交流を持ち、地域における連帯感を生み、住んでよかった思えるような社会づくりを進める。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) お年寄りから子どもまで、すべての市民が年齢や体力、技術に合わせてスポーツを行うことが出来る「スポーツ社会」の実現に向けて各種事業を実施する。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) ニュースポーツといわれる、スポーツ吹き矢・バランスボールなどを広く市民に紹介をして、今まで運動をしていなかった市民にもスポーツに興味を持ってもらうことを実施していくので、更なる向上の余地はある。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 第1次総合計画第3章豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくりで、自分の健康は自分で守るという意識を持たせ、スポーツ活動に積極的に参加することを政策として掲げている。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 体育指導委員の会議、事業への出席には報酬が伴うので、事業費(報酬)の削減は活動の停滞につながる。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 職員と体育指導委員が連携し、市民のスポーツ振興を図って行かなければならないので、ますます体育指導委員とのタイアップが必要となってくる。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 市民の代表として、教育委員会が委嘱し、市民のスポーツ振興に尽力されている。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・すべての市民が生涯を通して、年齢や体力に応じてスポーツ活動を行う「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、事業を実施する。 ・体育指導委員構成を見直して、25名になった。しかし、委員の高年齢化・男女の比率当を考慮、次回24年4月1日に委嘱する体育指導委員を課長や補佐と相談しながら検討していく。																					
(3) 今後の事業の方向性																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
体育指導委員としての役割を再認識するためにも、新しい事業活動を考えて実施していく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
・市民のリーダーとして、行政主導ではない、主体性を持った活動ができるよう各種研修会へ参加していく。(関東体育指導委員研究大会等) ・体育指導委員の構成も新しくなり、さらなる活動ができるよう協力していきたい。																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項